

---

# 靈魂！

花宮月弥

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

靈魂！

### 【Nコード】

N2122Y

### 【作者名】

花宮月弥

### 【あらすじ】

「幽霊ってほんとにいると思う？」

「んー……」。

でも、『いる』って言うたら世界中大パニックになるよね」

中学2年生の少女、鈴堂新菜りんどういなとその“守護霊”、蒼柳そうりゅう。どうしようもない凸凹コンビが世界を救うかも？

“ 靈魂使い ” を名乗る人間たち。

“ 守護靈 ” を名乗る靈魂たち。

そして “ 悪靈 ” と呼ばれる靈魂。

ゆるゆるなラブ（？）アクション！

（ホラーというジャンルに入るのかもしれませんが）

## プロローグ（前書き）

こんにちは！

花宮、はじめての投稿になります。

お目を通してくださり、本当にありがとうございます。

「靈魂！」は、完全にわたしの好みの話となってしまいました。

でも、とても厚かましいお願いではありますが、最後までおつきあいいただけたら嬉しいです。

拙いながらも少しずつ頑張っていきたいと思います。  
どうぞよろしくお願いいたします。

## プロローグ

### 【プロローグ】

クーラーは快適な温度を保っているはずなのに、じつとりと汗をかいている。

「あ、あたしじゃないよ!」

しかも、うすら寒い。

「（別にニイナを疑っているわけじゃない。この件にニイナが関わっているのだろう、と言っているのだ。）」

よく聞いていないと聞き漏らしてしまいそうな程、微かな声。

ささやくように、心地よく響くはずのその声は、今の新菜にとって  
は恐怖ではない。

事件は一昨日起こった。

ある男のルール違反を目撃した新菜は、すぐに告げ口をしようとしたが、できなかったのだ。

それは、その男と同罪だということを指す。

「うう……」

「（ニイナは嘘が下手なのだから、隠す必要などない。何度そう言わせるつもりだ？）」

切れ長の鋭い眼光を放つ瞳が新菜を見据える。

新菜はあわあわ、と抵抗を試みたが、結局何もできずに、うなだれた。

「ソウリユウはたまに鋭すぎてイヤ。」

新菜の呟きを聞いて、蒼柳は笑みを深める。

新菜はふと顔を上げると、観念したようにバンザイした。

「ミツがやったんだよ、あの事件は。」

「（ミツ……？）」

「そう、オオサキミツ。あたしと同じ学校の先輩で、あたしの直属の上司。」

でもね、事件を起してる時のミツは『やらされてる』みたいな感じだったから、かわいそうで。」

大崎密はルール違反をするような男ではない。

正義感が強すぎる故に他の人との折り合いがつかず、最終的に新菜とペアを組むことになったという経緯まで持つ。

そんな男が簡単にルール違反をするだろうか。

「ま。バレちゃったんだから、ソウリユウも一緒に考えてよね。」  
「（無論だ。）」

黒目がちの大きな目をくしゃり、として笑うと蒼流もふっ、と笑い声をもらす。

「（私はニイナの“守護霊”だからな）」

これは少女、鈴堂新菜 リンドウニイナ と、その“守護霊”、蒼柳の話である。

霊魂！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2122y/>

---

靈魂！

2011年11月4日16時19分発行